

カーボンニュートラル対応



カーボンニュートラル(以下CN)については、2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、CNを目指すことを宣言しました。

当会では、CN専門委員会を立ち上げ、2021年8月27日より活動を開始した。会員の皆様からいただいたアンケートの結果に基づき、CNを正しく理解していただくための勉強会の開催、パンフレットの送付(その1~4)そして車体NEWSでは2021秋号からCNの取組みを紹介している。

第5回目の今回は、継続して実施している勉強会の実施状況、CJPT*と連携した商用車電動化WG実施状況、2020年度のCO2排出量実績と概算値について紹介する。

※CJPT：Commercial Japan Partnership Technologies(株)

CN勉強会

アンケートで多くの要望があり、会員の皆様の理解を深めていただくことを目的に勉強会(入門編)を継続中

- 内容： ・ CNとは？ ・ 車工会アンケート結果
 ・ CNに何故、取り組む必要があるのか？ ・ CN取組みの進め方

	開催日時	開催方法	講師	参加社数
第9回	2022年8月26日(金)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株)PE・環境部松井部長	7社
第8回	2022年7月22日(金)	オンライン(Zoom)	日産車体(株)安全環境部薬丸部長	6社
第7回	2022年6月23日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ車体(株)PE環境部エネルギー企画室杉山室長	13社
第6回	2022年5月26日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株)PE・環境部松井部長	3社
第5回	2022年4月21日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株)PE・環境部松井部長	5社
第4回	2022年2月4日(金)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株)PE・環境部松井部長	26社
第3回	2021年12月20日(月)	オンライン(Zoom)	日産車体(株)安全環境部薬丸部長	16社
第2回	2021年12月2日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ車体(株)PE環境部エネルギー企画室杉山室長	18社
トラック部会	2021年11月19日(金)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株)PE・環境部松井部長	8社
第1回	2021年10月26日(火)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株)PE・環境部松井部長	19社

- 今後： ・ 勉強会を継続し、より多くの会員のCN理解度向上に寄与
 ・ 会員会社社員教育に寄与
 ・ 会員要望を踏まえ、CN取組みに繋げるレベルアップした勉強会コンテンツの検討(9月以降開催予定)

CJPTによる「商用車電動化WGキックオフ」及び第1回WG

5月19、20日に、CJPTによる「商用車電動化説明会」を開催し、今後の商用車電動化に向けた、シャシ・架装の課題と「電力供給WG」、「油圧駆動WG」ふたつの個別WG活動により課題解決を進めることが確認された。WG活動スタートにあたり、ふたつのWG合同の「キックオフ」及び、第1回のWGを電力供給WG、油圧駆動WGそれぞれ開催した。

<キックオフ>

- 開催日時 2022年7月20日(水) 10:00~12:00
- 開催方法 ZoomによるWeb開催
- 内容 ・ 事前確認事項 ・ 振り返りと実際のBEV/FCEV説明 ・ 明確にしたい架装要件とアンケート内容
- 参加者 電力供給WG17社25名及びオブザーバー10社12名
 油圧駆動WG7社15名及びオブザーバー8社9名
 事務局15名(CJPT7名、TMEJ2名、車工会6名)及びトヨタ自動車法務部2名

<第1回WG>

- 電力供給WG：2022年8月4日(16社22名、オブザーバー参加11社15名)
 油圧駆動WG：2022年8月25日(7社15名、オブザーバー参加7社7名)
 「明確にしたい架装要件」の事前アンケート結果に基づく具体的な打ち合わせを開始

<今後>

第2回電力供給WG9月8日、第2回油圧駆動WG9月22日開催予定

CO2排出量算出に向けたエネルギー使用量調査

★ 目的

- ◆ 会員の現状把握を行い、車工会目標値設定の参考とする【車工会】
- ◆ エネルギー毎のCN取組み事例提供の参考とする【車工会・会員】
- ◆ 会員支援の際、エネルギー区分による対応策の参考とする【車工会・会員】
- ◆ 会員に対し、部会毎に企業規模、CO2排出量により、自社の位置づけを確認いただき、個社取組みの検討、立案の参考にしていただく【会員】

★ 調査対象と回答状況

対象：230社(正会員203社、準会員27社)
 エネルギー使用量回答：145社(回答率63%、正会員119社、準会員26社)
 エネルギー使用量概算：85社(145社の実績データ、資本金、売上高、従業員数をもとに重回帰分析にて算出)

★ 結果概要

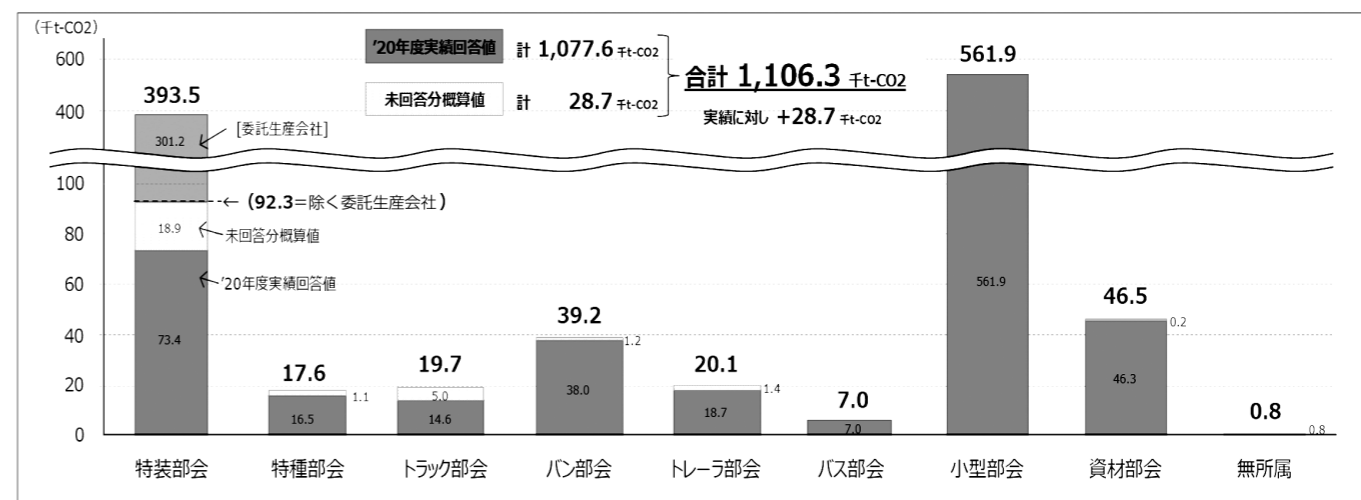
- ・ 2020年度車体工業会CO2排出量：1,106.3千t-CO2
- 内訳 2020年度実績回答値：1,077.6千t-CO2
- 未回答概算値(推定)：28.7千t-CO2

部会別CO2排出量

部会 (対象会員数)	特装部会 (40社)	特種部会 (51社/52社)	トラック部会 (74社)	バン部会 (23社)	トレー部会 (6社)	バス部会 (1社)	小型部会 (6社)	資材部会 (27社/102社)	無所属 (2社/3社)	合計 (t-CO2/年)
20年度実績回答	25社 374,628.4	35社 16,494.4	30社 14,638.4	18社 37,956.7	4社 18,692.5	1社 6,996.5	6社 561,945.3	26社 46,275.2	- 0.0	1,077,627.4
未回答分概算値	15社 18,938.8	16社 1,128.8	44社 5,027.4	5社 1,199.6	2社 1,415.0	- 0.0	- 0.0	1社 182.7	2社 763.6	28,655.8
合計	393,567.2	17,623.2	19,665.8	39,156.3	20,107.4	6,996.5	561,945.3	46,457.8	763.6	1,106,283.2
生産・資材除く合計	92,330.8	17,623.2	19,665.8	39,156.3	20,107.4	6,996.5	0.0	0.0	763.6	196,643.6

※各部会の所属会員数は、2021年度調査時点の所属、複数所属の場合は生産台数の多い部会にカウント

部会別CO2排出量比較(全会員対象)



<売上高別CO2排出量の各社へのフィードバック>

ご回答をいただいた145社には、各社のCO2排出量の、車工会会員における位置づけが確認できる散布グラフを提供

車工会会員の皆様へ

2021年度のCO2排出量調査を実施しています。自社の現状の位置づけが明確になり、今後の目標設定活動等のベースとなる貴重なデータとなりますので、回答へのご協力をお願いいたします。